

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟市横越総合体育館（プールなし）		
管 理 者 名		指 定 期 間	令和6年4月1日 ~ 令和11年3月31日
担 当 課	江南区産業振興課		
所 在 地	新潟市江南区いぶき野 1 丁目 1 番 1 号		
根 拠 法 令	スポーツ基本法		
設 置 条 例	新潟市体育施設条例		
施 設 概 要	竣工年月日 平成 6 年 1 2 月 1 日 敷地面積 17,207.83㎡ 建築面積 4,068㎡ 延床面積 4,823㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 2 階建・一部鉄骨造 主要施設 アリーナ（バスケットボール 2 面/バレーボール2面/卓球27台/バドミントン 8 面/テニス 2 面） 剣道場（263㎡：剣道場1面） トレーニングルーム（トレーニング機器各種） ランニングコース（1 周180m） 観覧席 固定500席・会議室・ミーティングルーム・健康相談室等 芝生広場、駐車場（142台、障がい者用・6 台）、駐輪場		

施 設 設 置 目 的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として設置。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 ， 方 針 等
(1)新潟市体育施設条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報の保護に関する法律施行条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。 (9) 江南区の施策の方向性（スポーツに親しむ機会の創出等、新規利用者の獲得、利用者の増加を図る）に沿った自主事業の提案・実施に努めること

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	・ホームページ等による情報提供更新 月1回以上 ・施設利用者への広報誌、情報紙、チラシ等の発行 月1回以上	・HPとブログを活用し、週1回以上情報を更新した。 ・各種利用案内を作成し、申請書式と共にダウンロードできる体制を継続した。 ・広報誌等で月1回のペースで施設情報等を積極的にPRした。 ・公式LINEを活用し、月間スケジュールをはじめ、各種情報を更新した。	A	新たに施設公式LINEを立ち上げるなど、積極的なPRに取り組み、指標を大きく上回る回数の情報発信を行ったことを評価する。
	基準利用者数の達成	・利用者数年間95,000人以上	・利用者数年間97,244人	B	コロナ前水準まで回復し、目標を達成している。
	基準稼働率の達成	稼働率(利用時間/利用可能時間)アリーナ75%以上、剣道場50%以上 * 自主事業を含む	・アリーナ67.1% ・剣道場43.1% ※土日祝は大会イベントの開催もあり、アリーナは90%を超えているが平日(特に日中)の利用率増が課題	B	目標には及ばなかったが、指標がコロナ前の高水準での設定であったため、B評価とする。
	各種サービス別満足度	・利用者アンケートで「満足」が80%以上 ・スポーツ教室参加満足度80%以上 ・施設利用者満足度(接客)80%以上	・スポーツ教室参加満足度88% ・設利用者満足度84%	B	目標を達成している。
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には 14営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	・グループ苦情要望対応マニュアルを整備し、「利用者意向調査票」を用い回答。 ・HPで公開および市への報告相談を14営業日以内に行った。	B	適切に対応していた。
	地域連携・社会貢献活動	・地域活性化に資する事業の実施 ・社会貢献活動(地域連携事業)の実施	地域の団体と連携し、健康づくりセミナーなどを22コマ(参加者513人)実施した。	A	区主催の事業や地域のサークル活動等に積極的に協力し、地域貢献に寄与している。
	江南区の施策に合致したサービス提供	・江南区の施策に合致した自主事業(スポーツ教室等)を年間500件以上実施 ・教室参加者 年間延べ10,000人以上	・教室等を年間1,340コマ(年間延べ参加者16,281人)実施し、前年度と比べ年間133コマ(年間延べ参加者2,265人)増加 ・トレーニングルーム初回者指導127コマ(年間延べ参加者182人)	A	指標を大きく上回る教室を開催し、利用者回復に貢献したことを評価する。
財 務	利用者一人当たりのコスト削減額	・利用者1人あたりのコスト400円以下	209円	A	利用者数の回復に努め、目標を大きく上回ったことを評価する。
	管理運営経費削減への取り組み	管理運営経費を抑えるための取り組みを年1項目以上実施	各室場の空調温度設定や館内照明を間引くなどの工夫をし省エネ対策をおこなった	B	経費削減の取り組みを複数実施し、物価高騰のなか管理経費の節減に努めた。
	市の歳入の増加	・使用料収入が年間10,000,000円以上	11,417,854円(団体8,013,004円、個人3,360,050円)	B	目標を達成している。
	事業計画・事業報告の適切さ	・事業報告が分かりやすく、かつ正確である ・事業計画書・事業報告書提出の締切厳守	厳守している	B	適切に対応していた。
	他施設等の連携に関する理解	・他施設との連携会議を月1回以上開催	江南区体育施設協議会を継続し、2ヶ月に一回会議を開催、その他、他区の施設と月1回会議を開催	B	適切に対応していた。
	日常連絡の適切さ	・事故報告は、発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ・市からの質問事項等の締切厳守	厳守している	B	適切に対応していた。

業 務	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者の配置と安全確保体制の確立 ・危機管理マニュアルの職員周知 ・防災訓練年2回以上実施	・安全責任者(常勤職員)を配置し、代理も決め、緊急連絡網や急報先等関係機関一覧により連絡体制を継続ならびに更新した。 ・危機管理マニュアルを基に月1回施設管理研修を開き救急時や災害時の対応を確認した。 ・消防法第8条に基づく防火対象物として、火災地震その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ることを目的に、防災訓練を年2回行った。 ・避難所指定の地域自治会と連携し、避難訓練の開催やLINEを使った防災配信などを行った。	B	適切に対応していた。
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応が整理されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施	・グループ危機管理マニュアルを整備した。 ・全スタッフに対し、採用時研修で基本編を実施、年2回の消防訓練時に更新研修を実施、月1回確認研修を実施、外部研修として救命講習を受講・施設掲示板および利用案内に災害時避難集合同所などを明記し利用者への周知と啓発に努めている。 ・江南警察署と「こども110番の家」として連携体制を整備した。また、不審者対応等について、担当者と連絡および協議を密に行った。	B	適切に対応していた。
	事故防止の取組	・事件・事故対応マニュアルの作成や連絡体制の整備 ・補償を伴う事故発生件数 0件	・施設利用者を想定した「事件・事故対応マニュアル」、施設スタッフを想定した「施設管理作業における留意事項および禁止事項(事例集)」を使用し、スタッフに研修を実施した。 ・補償を伴う事故発生件数:なし	B	適切に対応していた。
	自己管理システム	事業報告書において、業務の自己点検と業務への反映についての具体的記載	問題点・要望については、区所管課と協議した上で、施設スタッフと本部職員による「グループ運営協議会」を行いその自己評価を管理・運営へ反映した	B	適切に対応していた。
	関係法令の遵守	個人情報保護、情報公開及びコンプライアンスに関する研修1回以上実施	・グループ個人情報保護規程を整備した。 ・全スタッフに対し、採用時研修で基本編を実施、月1回確認研修を実施した。 ・パソコンや書類などの個人データを含むものは全て利用時以外は施錠し保管を徹底した。	B	適切に対応していた。
	業務基準書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守している	B	遵守している。
人 材	配置人員のスキルの習得度	職員研修を年2回以上実施	職員研修を年12回実施した	A	目標以上の研修を実施し、人材育成及び技術向上に努めたことを評価する。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守している	B	遵守している。

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

当グループは、単に施設を管理するだけの指定管理者ではなく、地域の方々を主人公にした、スポーツとフィットネスのサービス拠点としての横越総合体育館を目指します。また、例年通りにはなりますが、利用される方にとって、安心・安全にご利用いただける施設管理運営を心がけました。また、サービス活動の基盤となる「SPOFIT新潟江南スポーツクラブ(江南SC)」では、教室等への参加は16,281人と、昨年度より2,265人の増加となりました。令和7年度も、「スポーツ施設としての拠点機能」と「地域の方々に身近なスポーツとフィットネスサービスの提供」という2面的な施設特性を加味した更なる充実を目指します。日々変化していく利用者ニーズに沿ったサービスへと改善また、利用者意見に寄り添うことで、さらに多くの地域の皆様に、安心・安全な健康づくりを提供できるよう努めてまいります。

所管課による総合評価(所見)

利用者数はほぼコロナ前水準まで回復している。
自主事業としてのスポーツ教室を多数開催し、施設の利用促進やリピーター確保につなげている。また、施設公式LINEを立ち上げ、積極的なPRに取り組むとともに、防災配信等にも活用するなどの新しい取り組みを実施していることも評価できる。
今後も、引き続き安心・安全に健康づくりに取り組むことができる施設として、利用者ニーズの把握とサービス向上に努め、利用者数の増加・満足度の向上が得られる施設運営を期待する。